

令和2年度 千葉支部保険者機能強化予算執行状況

1. 保険者機能強化予算執行状況（全体像）

予算区分		概要	予算額	精算額	残額	執行率	
支部保険者機能強化予算	医療費適正化等予算	A:医療費適正化対策経費	ジェネリック医薬品の使用促進、医療費適正化に関する経費	1,410千円	1,778千円	▲368千円	126.1%
		B:広報・意見発信経費	各種チラシ・リーフレット等の作成、	18,730千円	17,905千円	825千円	95.6%
	小計			20,140千円	19,683千円	457千円	97.7%
	保健事業予算	C:健診経費	事業者健診H b A 1 c 追加検査費、集団健診、健診推進経費、健診受診勧奨経費 など	33,256千円	9,807千円	23,449千円	29.5%
		D:保健指導経費	中間評価時の血液検査費、保健指導関係経費、保健推進経費、保健指導利用勧奨経費	5,189千円	3,382千円	1,807千円	65.2%
		E:重症化予防事業経費	未治療者受診勧奨、重症化予防対策	9,500千円	5,625千円	3,875千円	59.2%
		F:コラボヘルス事業経費	コラボヘルス事業	11,722千円	1,191千円	10,531千円	10.2%
		G:その他の経費	その他の保健事業に係る経費	11,806千円	1,546千円	10,260千円	13.1%
	小計			71,473千円	21,551千円	49,922千円	30.2%
	合計			91,613千円	41,234千円	50,379千円	45.0%

2. 保険者機能強化予算執行状況（重点事項別）

事業計画の重点事項及び主な取組		予算区分	予算額	精算額	残額	執行額	実施状況及び残差理由	事業報告参照ページ
(1) 基盤的保険者機能			計 330千円	計 493千円	計 ▲163千円	149.4%		
無資格受診等による債権の発生防止のための広報及び保険証の回収強化 ◀KPI▶日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を95.0%以上とする。			計 330千円	計 493千円	計 ▲163千円	149.4%		
	◀新規▶資格喪失・扶養解除後の保険証早期回収啓発ポスターの作成	B	330千円	493千円	▲163千円	149.4%	【実施状況】11月作成、12月に県内の全医療機関および関係機関（187件）、1月に健康保険委員会宛に配付した。 【執行状況】不足分は「加入者の健康増進に向けた取組（紙媒体による広報）」から科目変更して執行した。	12
(2) 戦略的保険者機能			計 91,283千円	計 40,741千円	計 50,542千円	44.6%		
加入者の健康増進に向けた取組 ◀KPI▶ -			計 6,856千円	計 1,491千円	計 5,365千円	21.7%		
	生活習慣病予防健診時にリーフレットを活用した禁煙啓発の取組	G	1,100千円	330千円	770千円	30.0%	【実施状況】生活習慣病予防健診実施機関90機関に対し、禁煙啓発パンフレットを配付（1機関100部）し、協力依頼を実施した。 【残差理由】パンフレットが想定より安価で購入できたため。	-
	健康づくり啓発のための漫画作成経費	G	1,280千円	391千円	889千円	30.5%	【実施状況】メールマガジンにて隔月で連載し、令和3年3月に冊子化した。 【残差理由】漫画冊子の作成費用が一般競争入札により当初想定額より低く抑えられたため。また、イベントの開催が中止となり、配付用の増刷をしなかったため。	29
	各種健康イベント等への参画	G	384千円	22千円	362千円	5.7%	【実施状況】新型コロナウイルス感染症拡大によりイベントの開催が中止となったため。 【残差理由】実施見送りのため。（精算額22千円はイベント中止による講師のキャンセル料）	31
	◀新規▶地元紙等を活用した保健事業の取組の周知	G	4,092千円	748千円	3,344千円	18.3%	【実施状況】新型コロナウイルス感染症拡大による健診実施機関の受入態勢が整わない状況であったため、事業実施による反響（健診実施機関の受入不可）を懸念し、実施を見送った。 【残差理由】実施見送りのため。	-
データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施（インセンティブ制度評価指標関連事項）								
i) 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上（インセンティブ制度評価指標関連事項） ◀KPI▶ ①生活習慣病予防健診実施率を58.0%以上とする。 ②事業者健診データ取得率を6.5%以上とする。 ③被扶養者の特定健診受診率を26.0%以上とする。			計 33,256千円	計 9,807千円	計 23,449千円	29.5%		
	新適事業所や未受診事業所等を対象とした生活習慣病予防健診の受診勧奨	C	6,248千円	0千円	6,248千円	0.0%	【実施状況】新型コロナウイルス感染症拡大による健診実施業務の停止等により、外部委託する件数が未確定であったため、支部にて実施した。（新適事業所2,156件DM発送） 【残差理由】外部委託せず、支部にて実施したため。	-
	事業主と支部長の連名文を活用した特定健診受診勧奨	C	3,111千円	0千円	3,111千円	0.0%	【実施状況】新型コロナウイルス感染症拡大による健診実施業務の停止等により事業に着手できず、年内の文書発送が困難となったため、実施を見送った。 【残差理由】実施見送りのため。	22
	G I S と経年的受診状況データを利用した未受診の被扶養者に対する受診勧奨	C	4,400千円	3,539千円	861千円	80.4%	【実施状況】対象者及び案内健診機関数を拡大のうえ、1月に発送した。（80,883名） 【残差理由】一般競争入札により当初想定額より低く抑えられたため。	22
	ラジオCMを活用した健診受診勧奨	C	1,485千円	0千円	1,485千円	0.0%	【実施状況】新型コロナウイルス感染症拡大による健診実施機関の受入態勢が整わない状況であったため、事業実施による反響（健診実施機関の受入不可）を懸念し、実施を見送った。 【残差理由】実施見送りのため。	22

事業計画の重点事項及び主な取組		予算 区分	予算額	精算額	残額	執行額	実施状況及び残差理由	事業報告 参照ページ
	初めて健診対象となる加入者に対する受診勧奨委託業務	C	6,270千円	384千円	5,886千円	6.1%	【実施状況】令和3年度に生活習慣病予防健診（35歳）または特定健診（40歳）の対象となる者に発送した。（9,529名） 【残差理由】ダイレクトメールの様式のサイズダウン、また、送付対象者が見込数より大幅に減少したため。	22
	その他	C	11,742千円	5,884千円	5,858千円	50.1%	【実施状況】①市町と同時実施する集団健診の受診勧奨、②協会けんぽ主催のオプション集団健診及び保健指導、③事業者健診データ取得業務委託等、各種事業を実施した。 【残差理由】①及び②は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施回数が減ったため。③の事業者健診結果データ取得業務委託についても新型コロナウイルス感染症拡大の影響により委託実施に遅れが生じたため。	-
ii) 特定保健指導の実施率の向上等（インセンティブ制度評価指標関連事項） « K P I » 特定保健指導の実施率を20.6%以上とする。			計 5,189千円	計 3,382千円	計 1,807千円	65.2%		
	保健指導推進経費	D	1,386千円	832千円	554千円	60.0%	【実施状況】令和2年度実績に対する報奨金を6機関へ支払った。 【残差理由】報奨金対象委託機関が想定より少なかったため。	24~25
	その他	D	3,803千円	2,550千円	1,253千円	67.1%	【実施状況】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により4~6月の対面による保健指導を中止したが、6月以降再開した。（実績評価6,072名） 【残差理由】中間評価時の血液検査の申込み数が想定より少なかったため。	-
iii) 重症化予防対策の推進（インセンティブ制度評価指標関連事項） « K P I » 受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を12.9%以上とする。			計 14,450千円	計 5,680千円	計 8,770千円	39.3%		
	未治療者受診勧奨	E	9,150千円	5,565千円	3,585千円	60.8%	【実施状況】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4~5月の勧奨業務が中止となったが、6月以降外部委託により文書勧奨2,298件、電話勧奨1,231件実施した。 【残差理由】4~5月中止の影響もあり、特に電話勧奨実施件数が見込み件数を大きく下回ったため。	26
	重症化予防対策	E	350千円	60千円	290千円	17.1%	【実施状況】糖尿病性腎症重症化予防は対象者がいなかったため、実施なし。 慢性腎臓病（CKD）が疑われる未治療者への文書勧奨を実施した。（529名） 【残差理由】糖尿病性腎症患者重症化予防は実施なしのため。 慢性腎臓病（CKD）が疑われる未治療者への文書勧奨に使用したパンフレットが想定より安価で購入できたため。	27
	被保険者の一次勧奨予備群等及び被扶養者の一次・二次勧奨予備群等への健康意識啓発通知事業	G	4,950千円	55千円	4,895千円	1.1%	【実施状況】被保険者644名、被扶養者68名に通知を発送した。 【残差理由】試行的に支部で作成を行い、地域も限定して実施したため。	26
iv) 健康経営（コラボヘルスの推進）（インセンティブ制度評価指標関連事項） « K P I »-			計 11,722千円	計 1,191千円	計 10,531千円	10.2%		
	健康宣言事業所における健康づくりのための事業所出張訪問セミナーの実施	F	2,915千円	356千円	2,559千円	12.2%	【実施状況】出張訪問セミナー15回実施。 【残差理由】新型コロナウイルス感染症拡大により申込が減少したため。	29
	健康な職場づくりの実施に向けた取組	F	996千円	310千円	686千円	31.1%	【実施状況】訪問数63社、宣言数66社。なお、新型コロナウイルス感染症拡大のため4~5月、2~3月は訪問中止とした。 【残差理由】宣言事業所向けポスターの作成費用が一般競争入札により当初想定額より低く抑えられたため。	29
	健康経営の普及促進に向けた取組	F	771千円	0千円	771千円	0.0%	【実施状況】千葉県主催のセミナーにおいて広報チラシ等を配付した。（52名） 【残差理由】広報チラシを支部で作成したため。また、広報チラシの配付を予定していた団体のセミナーが新型コロナウイルス感染症拡大により開催中止となったため。	28
	健康宣言事業所に対する歯科健診の実施	F	4,400千円	525千円	3,875千円	11.9%	【実施状況】歯科口腔健康診査受診券を147名分発行した。（受診者64名。） 【残差理由】新型コロナウイルス感染症拡大による開始時期の遅れや受診控え等により、受診者数が当初の計画を大幅に下回った。	29
	«新規»「健康度 見える化BOOK」作成費	F	2,640千円	0千円	2,640千円	0.0%	【実施状況】現状ベースに一部見直しを実施。 【残差理由】外部委託せず、支部にて作成したため。	28

事業計画の重点事項及び主な取組		予算区分	予算額	精算額	残額	執行額	実施状況及び残差理由	事業報告参照ページ
広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進 « K P I » ①広報活動における加入者理解率の平均について対前年度以上とする。 ②全被保険者に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を31.0%以上とする。			計 6,136千円	計 4,895千円	計 1,241千円	79.8%		
	納入告知書同封チラシの作成など、紙媒体を活用した広報活動の実施	B	5,740千円	4,754千円	986千円	82.8%	【実施状況】令和2年度改訂版健康保険の事務手続き冊子は算定基礎届説明会が中止となったため、健康保険委員あてに送付した。納入告知書同封チラシ、卓上カレンダー等、広報計画に沿って作成、配付した。 【残差理由】一般競争入札等の実施により、当初の見込みより安価に抑えられたため。	32
	医療費適正化に向けた事業所への啓発	A	396千円	141千円	255千円	35.6%	【実施状況】上手な医療のかかり方等について理解を深めるためのポスターを9月に作成、10月に加入事業所へ配付。 【残差理由】一般競争入札等の実施により、当初の見込みより安価に抑えられたため。	33
ジェネリック医薬品の使用促進（インセンティブ制度評価指標関連事項） « K P I » 協会けんぽのジェネリック医薬品使用割合を80.5%以上とする。			計 13,674千円	計 14,295千円	計 ▲621千円	104.5%		
	ジェネリック医薬品の使用促進に向けた各種広報の実施	B	9,030千円	11,173千円	▲2,143千円	123.7%	【実施状況】ジェネリック医薬品推進月間である8月・2月を中心に以下の広報を実施電車中吊り広告、トレインチャンネル、テレビCM、ラジオ広告、千葉日報への広告、WEB/バナー広告、加入者向け各種広報紙での広報、メールマガジンでの広報。 【残差理由】統一感を持った広報を実施するため、一括で調達を行った。 【執行状況】不足分は「ジェネリック医薬品の使用促進に向けたラジオ広告の実施」より、予算科目を変更して執行。	36
	ジェネリック医薬品の使用促進に向けたラジオ広告の実施	B	3,630千円	1,485千円	2,145千円	40.9%	【実施状況】8～9月に実施。 【残差理由】当初毎月のラジオCMを予定していたが、短期集中的に実施した方が、広告効果が高いことから実施期間を短縮したため。	36
	ジェネリック医薬品使用促進啓発のためのお薬手帳カバーの増刷	A	949千円	1,570千円	▲621千円	165.4%	【実施状況】健康保険委員及び保険薬局に配付。保険薬局からの反響が大きく、申込が想定以上あり、追加で作成した。（8,500冊→18,500冊、10,000冊増刷） 【執行状況】不足分は「医療費適正化に向けた事業所への啓発」「加入者の健康増進に向けた取組（紙媒体による広報）」から科目変更して執行した。	37
	«新規»薬局別ジェネリック医薬品使用割合通知の送付	A	65千円	67千円	▲2千円	103.2%	【実施状況】千葉県内保険薬局（2,319件）及び医療機関（247件）へ送付した。 【執行状況】不足分は「ジェネリック医薬品使用促進啓発のためのお薬手帳カバーの増刷」から科目変更して執行した。	36
合計			計 91,613千円	計 41,234千円	計 50,379千円	45.0%		